平成１３年度当初予算　基本事務事業目的評価表

［基本事務事業名］　女性の人権尊重環境づくり事業　（３０１）
［評価年月日］　平成１２年１１月３０日
［主担当部課名］　健康福祉部こども家庭課
［記入課名・課長名］　こども家庭課　古庄　憲之

１　総合計画の政策体系上の位置づけ
政策　：　人権の尊重　（Ｉ－１）
施策　：　男女共同参画社会の実現　（　３　）
総合計画の目標項目　：
波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策　：

２　基本事務事業を巡る環境変化（過去、現状、将来）
　発足当時は売春に絡む要保護女子の保護更生相談が主であったが、社会情勢の変化とともに現在は家庭生活や夫婦間の問題が多くなっている。特に夫の暴力や性虐待といった、女性の生命や人権に関わる内容が年々増加している。相談件数においても増加の傾向にある。

３　基本事務事業の目的と成果
3-(1)　対象と意図（何をどういう状態にしたいのか）
　人権の保護を要する女子が対象であり、関係機関と連携を取りながら要保護女子の早期発見、保護更生のため相談援助業務を行い、女性の人権を守り社会的自立を支援する。

3-(2)　成果指標名・成果指標式（総合計画の目標項目には＊を付す）
保護自立達成率

$$\frac{\text{相談件数}}{\text{対象女性人口}} \times \frac{\text{一時保護女性数}}{\text{相談件数}} \times \frac{\text{自立達成者数}}{\text{一時保護女性数}} \quad (\text{代}) \quad \frac{\text{自立達成者数}}{\text{一時保護女性数}}$$

②変更した場合の成果指標名・成果指標式
　一時保護女性数及び女性相談所相談件数

3-(3)　設定した成果指標に関する説明（指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など）
　暴力等により人権が侵害された女性が、一時的に現在の環境を離れたり一時保護所での短期間の生活指導により、心身の休養と安定を図り自立更生の意欲を養う環境を整備する。

3-(4)　結果（施策における2010年度の目標）
　個人の生き方、価値観が尊重されるなど男女平等についての意識改革が進み、実質的な男女平等社会が実現する。男女共にあらゆる分野に参画する機会が確保され、家庭、地域、職場などにおいて男女共同参画が実現している。また、男女共に多様な選択を可能とするための条件整備が整っている。

４　基本事務事業の評価
4-(1)　前年度（H11年度）における基本事務事業の結果評価
①前年度に行った内容と成果
　近年問題となっているドメステイック・バイオレンスに関し講演会を開催し、その啓発に努めた。

②前年度に残った課題

社会情勢の変化とともに著しい増加傾向にある「夫の暴力」「性虐待」等、女性の人権侵害の専門的な相談に対し、弁護士による協力が必要である。

4-(2)本年度(12年度)における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

ドメスティック・バイオレンスの被害者や夫婦関係・家庭問題などあらゆる女性の問題に悩む県民の相談に応じる。

②本年度残ると思われる課題

多面化・専門化する相談の増加により、「女性相談所相談機能強化事業」をさらに推進し、相談日を増やし対応する必要がある。

5　基本事務事業の改革方向

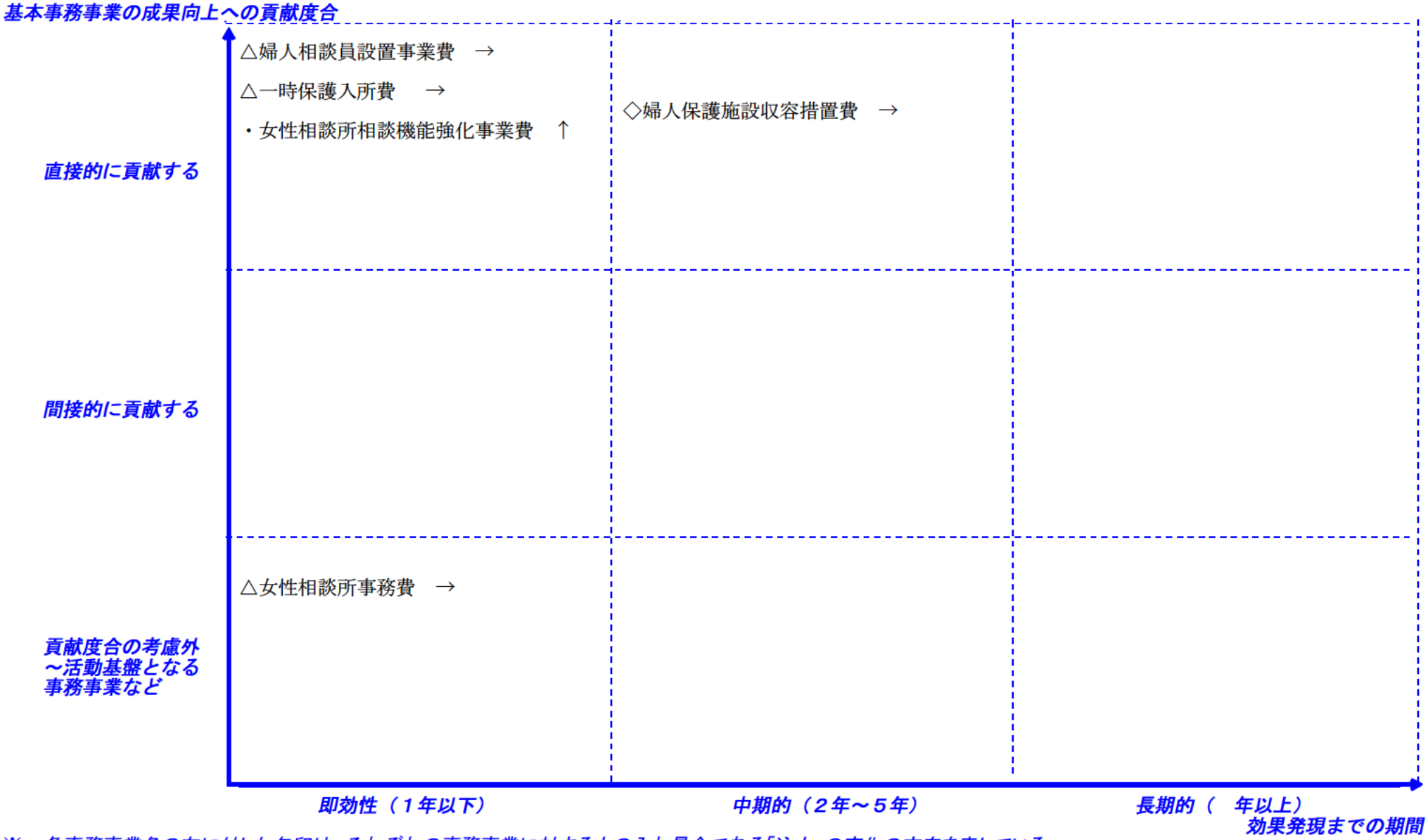
女性の人権救済機関としての役割を果たすとともに、女性の自立支援を推進する。

6　成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値 目標	成果指標値 実績	総合計画 目標数値	予算額等(千円) 所要時間(時間)	必要概算 コスト(千円)
前々年度 (H10年度)	ー ー	46 669	ー	102,500 8,190	135,261
前年度 (H11年度)	ー ー	55 1,004	ー	101,683 11,754	150,816
本年度 (H12年度)	66 1,506		ー	103,889 11,648	152,230
本年度補正後 (H12年度)				+(or ▲) +(or ▲)	+(or ▲)
翌年度 (H13年度)	80 2,260	＿＿＿＿	ー	107,225 11674	156,139
計画目標年次 (H　年度)	ー	＿＿＿＿		＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿＿

7　翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM：Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト：　☆５億円以上　◎～１億円　◇～５千万　△～１千万　・１千万未満　＊休止・廃止〉



※　各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8　基本事務事業を構成する事務事業の詳細
※　新規事務事業には、事務事業名に（新）を付す

事務事業名（担当課）	成果指標名	事務事業の概要	13年度予算額（千円）	予算額前年度比（±千円）	13年度所要時間（時間）	所要時間前年度比（±時間）
婦人相談員設置事業費（こども家庭課）	相談率	近年、夫の暴力や家庭崩壊等相談内容が多様化しており、女性の抱えるあらゆる相談に応じられるよう婦人相談員を設置している。	9,492	42	927	0
婦人保護施設収容措置費（　〃　）	自立更生度	長期の更生指導・援助を必要とする女性を婦人保護施設に入所させ、自立更生させるための措置費である。	80,858	△ 2,625	679	0
一時保護入所費（　〃　）	保護自立達成度	人権保護と自立を促し、要保護女子の生活の安定を図る。	10,523	356	4,811	0
女性相談所事務費（　〃　）	相談率	保護更生を図るために相談に応じ、助言や援助、一時保護や婦人保護施設への入所指導等を行う。	5,362	845	5,181	0
女性相談所相談機能強化事業費（　〃　）	相談率	性的虐待をはじめ夫からの暴力による離婚調停等の相談を弁護士の協力を得て対処する。	990	30	76	0